



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結） 平成18年2月7日

上場会社名 燦ホールディングス株式会社

（URL <http://www.san-hd.co.jp>）

（コード番号：9628 東証・大証第1部）

代表者 代表取締役社長 吉田 武

問合せ先責任者 経理部長 大井 信三 TEL：（06）6226-1716

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 連結（新規）1社（除外）社 持分法（新規）社（除外）社

2. 平成18年3月期の第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況 （注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	12,930	10.5	980	55.1	993	71.6	639	
17年3月期第3四半期	11,697	0.8	632	48.3	578	52.2	254	60.6
(参考)17年3月期	16,027		1,105		1,062		547	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	107 22	
17年3月期第3四半期	42 80	42 75
(参考)17年3月期	83 23	83 14

（注）営業収益、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期の連結業績は、中間期までに計上した固定資産の減損損失を中心とする特別損失の影響により、税金等調整前四半期純利益及び四半期純利益は大幅減益となりました。しかしながら、経常利益段階までは前年同期比増収増益であり、かつ増収率、増益率ともに中間期のそれを上回っております。

まず営業収益は、1,232百万円増収の12,930百万円（前年同期比10.5%増）となりました。これは主として、(株)葬仙の子会社化によって同社の営業収益（1,021百万円）が加わったこと、および10月～12月の(株)公益社の葬儀事業が、件数・単価とも前年同期を上回って好調に推移したことによるものであります。

これに対して営業費は、葬儀直接費率が1.8ポイント低下したほか、葬儀関連の広告宣伝費を前年同期比4割強削減した結果、前年同期比8.6%の増加に抑えることができました。また、販売費及び一般管理費につきましても、前期の持株会社への移行に伴う費用がなくなったこと等により前年同期比2.8%の増加にとどまっております。この結果、営業利益は348百万円増加し980百万円（前年同期比55.1%増）となりました。

さらに、前期の社債償還・再起債費用が当期はなかったため、経常利益は414百万円増加し993百万円（前年同期比71.6%増）となりました。

特別損失は、減損損失、役員退職慰労金を中心とする中間期までの計上額に加えて、第3四半期に既存設備に係る固定資産除却損が3百万円増加し、1,471百万円の計上となりました。その結果、税金等調整前四半期純損失は466百万円となり、四半期純損失は639百万円（前年同期比893百万円の純利益減）となりました。

[セグメント別の概況]

葬儀事業

まず、(株)公益社の10月～12月の葬儀請負の営業収益は、前年同期比8.3%の増収となりました。これは、12月の件数増加が大きく寄与し葬儀件数が前年同期を上回ったことに加え、金額5百万円超の大規模葬儀も多く、全体の葬儀平均単価も高い水準となったことに因ります。

第3四半期累計では、大規模葬儀は依然として少なく前年同期の件数を下回りましたが、葬儀件数全体は前年同期比1.8%の増加となりました。そして、葬儀平均単価が前年同期比0.5%の低下にとどまったため、葬儀請負の営業収益は1.4%の増収となりました。

また、(株)葬仙においても12月の葬儀件数が増加し、第3四半期累計で営業収益1,021百万円を計上いたしました。

次に、アフター販売は以下のような状況であります。まず、返礼品販売収入は、香典辞退率の上昇傾向という逆境により前年同期実績を下回りました。これに対して仏壇仏具販売収入は、設立から3年目を迎えた(株)ユーアイの販売体制の確立を背景に、前年同期比2割を超える増収を達成しました。また、法事法要も僅かながら増収となり、アフター販売全体としては、仏壇仏具販売の増収が大きく寄与し前年同期比増収となりました。

以上の結果、営業収益は1,281百万円増収の11,614百万円（セグメント間営業収益21百万円を含む）となりました。

運送事業

霊柩運送事業につきましては、依然として宮型車の運行回数の減少は続いており、前年同期比13.9%の減となりました。一方、洋型車は増車しながら、なおかつ宮型車を上回る高い稼働率を維持し、運行回数を伸ばしておりますが、宮型車の落ち込みを完全に埋め合わせるには至っておりません。

その結果、営業収益は37百万円減収の1,133百万円（セグメント間営業収益9百万円を含む）となりました。

その他の事業

不動産賃貸を中心とするその他の事業の営業収益は、前年同期比109百万円減収の229百万円（セグメント間営業収益16百万円を含む）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	25,744	19,077	74.1	3,200 74
17年3月期第3四半期	24,584	19,741	80.3	3,312 97
(参考)17年3月期	25,372	20,004	78.8	3,348 23

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は前期末に比べ372百万円増加して25,744百万円となりました。一方、株主資本は四半期純損失639百万円の計上及び社外流出（配当金・役員賞与）等によって前期末に比べ927百万円減少し19,077百万円となりました。その結果、株主資本比率は前期末の78.8%から74.1%へと4.7ポイント低下いた

しました。

資産の主な増減につきましては、有形固定資産の減少 607 百万円は主に減損損失の計上によるもの、無形固定資産の増加 550 百万円は主に(株)葬仙の買収に係る連結調整勘定の発生によるもの、投資その他の資産の増加 323 百万円は(株)葬仙の運営する葬祭会館等に係る差入保証金の増加、減損損失計上に伴う繰延税金資産（固定）の増加等によるものであります。

一方、負債の主な増加は借入金によるものであります。第3四半期末までに長期借入金を 1,570 百万円新規に借入れ、616 百万円を約定により返済した結果、1 年以内返済予定を含む長期借入金は 953 百万円増加いたしました。新規借入れは、公益社会館 たまプラーザ、(株)葬仙の大東ホール等の建設、玉出葬祭ホール増改築等の資金、さらに千里会館建替え資金の一部に充当いたしました。他に、当期より新たに連結対象に含めた(株)葬仙の短期借入金残高 44 百万円が加わっております。

なお、現金及び預金が前期比 201 百万円の増加となっておりますが、これは有価証券を売却したことに加え、千里会館の建替え資金として借入れた 700 百万円について、1 月以降の支払に充当することを予定しているためであります。

### 3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

	予想営業収益	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	18,045	1,440	415	78 35

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

#### [業績予想に関する定性的情報等]

通期予想値に対する当第3四半期の進捗率は、営業収益が 71.7%、経常利益が 69.0%と、経過期間対比やや低めの進捗率であります。しかし、第4四半期が最繁忙期となる事業の季節性及び足元の業況を勘案し、通期の連結業績予想について当初の予想を修正しておりません。

以上

[添付資料]

1. 四半期連結(要約)損益計算書

(単位:千円)

期別 科目	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		前第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		増減		前期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減比	金額	百分比
営業収益	12,930,450	100.0	11,697,904	100.0	1,232,546	10.5	16,027,795	100.0
営業費	10,833,970	83.8	9,980,405	85.3	853,565	8.6	13,463,271	84.0
営業総利益	2,096,479	16.2	1,717,498	14.7	378,980	22.1	2,564,523	16.0
販売費及び一般管理費	1,115,506	8.6	1,085,092	9.3	30,414	2.8	1,458,719	9.1
営業利益	980,972	7.6	632,406	5.4	348,566	55.1	1,105,804	6.9
営業外収益	80,701	0.6	54,979	0.5	25,722	46.8	77,317	0.5
営業外費用	68,468	0.5	108,614	0.9	40,146	37.0	120,131	0.8
経常利益	993,206	7.7	578,771	5.0	414,434	71.6	1,062,990	6.6
特別利益	12,592	0.1	413	0.0	12,178		54,813	0.4
特別損失	1,471,916	11.4	93,712	0.8	1,378,203		97,620	0.6
税金等調整前四半期 (当期)純利益又は 税金等調整前 四半期純損失( )	466,117	3.6	485,472	4.2	951,590		1,020,183	6.4
法人税、住民税 及び事業税	401,268	3.1	128,480	1.1	272,788	212.3	437,224	2.8
法人税等調整額	228,373	1.8	102,167	0.9	330,540		35,287	0.2
四半期(当期) 純利益又は 四半期純損失( )	639,013	4.9	254,824	2.2	893,838		547,671	3.4

2. 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)		前 期 (平成17年3月31日現在)		増 減 金 額	前第3四半期 (平成16年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
		%		%			%
( 資 産 の 部 )							
流 動 資 産	4,431,451	17.2	4,325,480	17.0	105,971	3,887,481	15.8
1 現 金 及 び 預 金	3,004,070		2,802,862		201,207	2,058,922	
2 営 業 未 収 金 及 び 未 収 運 賃	490,992		438,469		52,522	410,454	
3 有 価 証 券	45,027		248,266		203,238	451,114	
4 た な 卸 資 産	263,325		197,956		65,368	221,620	
5 そ の 他	631,127		640,648		9,520	748,524	
6 貸 倒 引 当 金	3,091		2,723		368	3,155	
固 定 資 産	21,313,506	82.8	21,047,183	83.0	266,323	20,697,365	84.2
1 有 形 固 定 資 産	18,071,276	70.2	18,678,474	73.6	607,198	18,499,659	75.3
(1) 建 物 及 び 構 築 物	7,381,377		7,376,134		5,242	7,485,597	
(2) 土 地	9,917,522		10,604,600		687,078	10,604,600	
(3) そ の 他	772,376		697,738		74,637	409,461	
2 無 形 固 定 資 産	724,338	2.8	174,257	0.7	550,080	182,645	0.7
3 投 資 そ の 他 の 資 産	2,517,892	9.8	2,194,451	8.7	323,441	2,015,060	8.2
(1) 投 資 有 価 証 券	19,182		70,101		50,919	106,243	
(2) 長 期 貸 付 金	705,165		690,621		14,543	530,118	
(3) 不 動 産 信 託 受 益 権	717,676		759,888		42,212	740,868	
(4) 差 入 保 証 金	564,474		379,760		184,714	361,991	
(5) そ の 他	581,547		362,819		218,728	348,195	
(6) 貸 倒 引 当 金	70,153		68,740		1,413	72,357	
資 産 合 計	25,744,958	100.0	25,372,663	100.0	372,295	24,584,846	100.0

(単位：千円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)		前 期 (平成17年3月31日現在)		増 減 金 額	前第3四半期 (平成16年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
		%		%			%
( 負 債 の 部 )		%		%			%
流 動 負 債	2,724,700	10.6	2,262,916	8.9	461,784	1,860,316	7.6
1 営 業 未 払 金	674,272		605,171		69,101	559,098	
2 短 期 借 入 金	44,169				44,169		
3 1 年 以 内 返 済 予 定 金 長 期 借 入 金	923,992		610,000		313,992	560,000	
4 未 払 法 人 税 等	318,043		218,960		99,083	61,700	
5 賞 与 引 当 金	151,373		372,629		221,255	149,210	
6 そ の 他	612,850		456,156		156,694	530,308	
固 定 負 債	3,943,081	15.3	3,105,511	12.3	837,569	2,983,519	12.1
1 社 債	1,500,000		1,500,000			1,500,000	
2 長 期 借 入 金	2,134,180		1,495,000		639,180	1,365,000	
3 長 期 預 り 金	82,006		51,453		30,552	57,303	
4 そ の 他	226,895		59,058		167,837	61,215	
負 債 合 計	6,667,782	25.9	5,368,428	21.2	1,299,354	4,843,835	19.7
( 資 本 の 部 )							
資 本 金	2,568,157	10.0	2,568,157	10.1		2,568,157	10.4
資 本 剰 余 金	5,488,615	21.3	5,488,615	21.6		5,488,615	22.3
利 益 剰 余 金	11,298,982	43.9	12,229,185	48.2	930,202	11,936,606	48.6
その他有価証券評価差額金	733	0.0	1,138	0.0	405	28,967	0.1
自 己 株 式	277,846	1.1	280,585	1.1	2,738	281,337	1.1
資 本 合 計	19,077,176	74.1	20,004,235	78.8	927,059	19,741,010	80.3
負 債 ・ 資 本 合 計	25,744,958	100.0	25,372,663	100.0	372,295	24,584,846	100.0

### 3. 請負及び営業の実績

#### (1) 請負実績

当社グループにおける事業の種類別セグメントのうち、主な事業である葬儀請負事業及び霊柩運送事業に係わる、葬儀請負施行件数及び霊柩車運行回数の、当中間期におけるそれぞれの状況は次のとおりであります。

#### 葬儀請負事業部門（会館別葬儀請負施行件数）

##### ア) (株)公益社

区 分		期 別	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)			
			式場数	施行件数	前年同期比	稼働率
大規模会館 〔千里会館、枚方会館、西宮山手会館、 公益社会館 天神橋〕	大式場	式場 4	件 185	% 98.9	% 33.6	
	一般式場	15	1,546	83.7	75.0	
支店・営業所附属会館 〔東大阪、堺、吹田、岸和田、西田辺、 用賀、玉出、城東、宝塚、豊中、 高槻、富雄、守口、雪谷、明大前、 たまプラーザ〕	一般式場	29	3,096	130.2	81.1	
	小計	48	4,827	109.4	75.1	
その他（自宅、寺院等）			1,625	84.5		
合 計			6,452	101.8		

##### イ) (株)葬仙

区 分		期 別	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)			
			式場数	施行件数	前年同期比	稼働率
支店・営業所附属会館 〔鳥取、吉方、岩美、米子、 安倍、福米、安来、境港、 松江、比津、東出雲、大東〕	一般式場	式場 12	件 754	%	% 45.7	
	その他（自宅、寺院等）		103			
合 計			857			

(注) 1. 稼働率 = 施行件数 ÷ 基準件数 × 100 なお、式場利用は通常、通夜と葬儀の2日間にわたるため、基準件数は1式場2日間に1件の施行を標準として算出しております。

2. 葬儀請負施行件数は、法事・法要件数を除いた件数を記載しております。

#### 霊柩運送事業部門（霊柩車運行回数）

区 分		期 別	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)			
			車両数	運行回数	前年同期比	稼働率
宮型霊柩車		台 54	回 13,537	% 86.1	% 31.4	
洋型霊柩車		14	3,634	164.7	35.7	
バン型寝台車		35	13,215	111.6	45.8	
合 計		103	30,386	102.1	37.0	

(注) 稼働率 = 運行回数 ÷ 基準運行回数 × 100

なお、基準運行回数は1台1日3回の運行を標準として算出しております。

## (2) 営業実績

事業の種類別セグメント		当第3四半期 (自平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	
		金額	前年同期比
葬儀事業		千円 11,592,627	% 112.4
運送事業	壺柩運送事業	752,630	95.6
	その他	371,401	100.4
	計	1,124,031	97.1
その他の事業		213,790	93.8
合 計		12,930,450	110.5